

金沢大学 融合研究域/融合学域 未来社会デザイン分野

中山 晶一朗 教授

金沢大学 融合研究域/融合学域
未来社会デザイン分野 中山 晶一朗 教授

専門分野

・未来社会デザイン

キーワード

・つながりとネットワーク
・スマートシティ/次世代モビリティ
・都市・地域デザイン

TEL: 076-234-4615

E-mail: nakayama@staff.kanazawa-u.ac.jp

Website: <https://urban-trans.w3.kanazawa-u.ac.jp/main/>

■研究室の概要

大きく変わろうとしているこれからの社会では、学問分野を問わず幅広い知見を備えた社会変革を先導する中核的リーダーとなる人材が不可欠で、イノベーションの創成をリードする社会変革人材の育成などを目指し、令和3(2021)年に金沢大学は融合学域を設置しました。

様々な意味で社会が急速に変容しており、未来はどのような社会になるのか/なるべきなのかなどを人文科学・社会科学・自然科学等の多様な「知」の融合による総合知・融合知から考え、過去の成功体験に捉われない新たなイノベーションなどを挑戦的に創発しながら、社会をどのようにデザインしていくべきなのかを課題としています。特に、これまでの歴史や文化を踏まえ、人々の暮らし、社会経済活動や移動などを重視しながら、仮想と現実の高度な融合を活用した持続可能なスマートシティを見据えた未来社会のデザインの視点を重要視しています。

■研究テーマ

(1) 都市・交通の定量的理解と予測

くらしや企業活動の場の都市や人々の移動である交通の統合的な理論やモデルをつくり、人々の移動や企業等の立地など都市や交通の特性やメカニズムの定量的な分析や予測をしています。

(2) 人々のつながりやネットワークの解析

交通はネットワークでつながっており、人々や企業の活動もつながりが重要です。このようなネットワークやつながりを考慮したシステムとして都市や交通および人々や企業のつながりなどを数理的に分析し、そのメカニズムの解明や予測に役立っています。

(3) 社会の合理化と都市や社会の未来

人々が色々な意見を持っているのが社会や都市であり、まちづくりや社会デザインでは多くの人が合意できるように客観的にかつ多面・重層的に考える必要があります。また、近

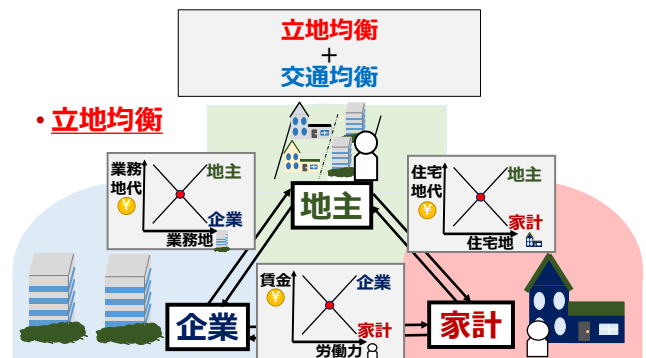


図1 都市・交通統合均衡モデル

年、社会のグローバル化や合理化が進んでおり、そのような社会の流れや仕組みを踏まえることも重要です。理念を明確にした理論やモデルをつくり、地域文脈を考慮しながら、最新のテクノロジーを活用しつつ、文理融合的に都市や社会のデザインについて研究を行っています。



図2 金沢市へのLRT(新型路面電車)の導入(片町界隈)